

## 日本史探究 第4回 授業の進め方とポイント

### 【第4回テーマとEQ】

武士の政権はどのようにして登場したのか  
～院政の時代から鎌倉幕府の成立へ～

### 【第4回の解説ポイント】

- ・外戚関係のない後三条天皇の登場により、摂関家の影響力が低下した。
- ・白河上皇以降に続いた院政が摂関家に代わり力を持つようになった理由を理解する。
- ・天皇家や貴族に軍事力として利用されるようになった武士団が中央政治でも登場するようになった。
- ・保元の乱と平治の乱によって、源氏・平氏が直接中央政治に関わるようになり、平治の乱の後、後白河上皇と関係を深めた平氏が大きな影響力を持つようになった。
- ・平氏を討ち滅ぼした源頼朝が鎌倉に幕府を開き、はじめての武家政権の成立に至った。
- ・鎌倉幕府の将軍と御家人は、御恩と奉公の関係で結ばれていた。

平安時代中期以降の公地公民制度の崩壊によって力を伸ばした藤原氏による摂関政治体制も、後三条天皇の登場によって天皇中心の政治体制の回復が目指されるようになった。そのような中で登場した白河天皇は、退位後も権力を持ち続け院政体制を形成したことを理解したい。

そして、その院政体制の確立によって、荘園支配をめぐる対立や朝廷内の権力争いに源氏や平氏などの武士団が活用されるようになり、当初軍事力として利用されていた武士団が次第に中央政治に影響力をもつようになっていき、最終的に源氏による幕府が開かれることによって、武家政権が誕生することになった権力の移行期を確認したい。

### 【これまでに出された留学生からの質問】

- ・「幕府とはどのような意味なののでしょうか。そして、どのようにして成立するものなののでしょうか。」
- そもそも中国で出陣した将軍が幕を張って指揮をした場所を指す言葉であった。日本では、近衛大将や征夷大將軍が指揮する場所を示す言葉として使われるようになり、次第に武家政権そのものを指すようになった。

「幕府を開いた」という場合、具体的にどの時点を成立したタイミングとして定義するかは定義することはできません。例えば、鎌倉幕府はそれまでに存在しなかった武家政権を段階的に成立させていったものであるといえ、その後の室町幕府や江戸幕府も、その前例に倣って幕府と呼ばれたといえる。